

てん菜の**西部萎黄病**の対策について

近年、被害が拡大していたてん菜の「西部萎黄病」は、

冬季にハウス内のアブラムシ類の生息場所を除去すると大幅に抑制できます!!

他作物生産者の協力も得て

地域全体で越冬ハウス内の雑草や作物残渣などを除去しましょう!!

西部萎黄病とは? モモアカアブラムシが媒介するウィルス病害です。※アブラムシは、植物がなければ生存できません。

冬期間のハウス内でのアブラムシ生息場所



片付け前の作物残渣



抜き取り後の作物残渣



雑草(ハウスの端やシートの下など)

A町a地域における2014年と2015年の圃場別西部萎黄病発生状況(十勝農試調査)



※この地域では、2015年2月に地域全体(赤い楕円内のハウス除く)で、越冬ハウス内部の雑草と作物残渣を除去しました。

殺虫剤によるアブラムシの防除は、

定植直前の苗床灌注が基本です。

移植後の茎葉散布も実施しましょう。

北海道・北海道農業協同組合中央会・北海道農民連盟

日本甜菜製糖株式会社・ホクレン農業協同組合連合会・北海道糖業株式会社

一般社団法人 北海道てん菜協会(011-221-2542)

監修 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 農業試験場